

会長指針

創立60周年『初心に還り友情と奉仕』

会長（理事） 小池 薫
（医 学）

基本方針

1. 還暦を迎え創立の心に立ち戻ろう
2. 諸先輩に感謝し、さらなる発展を誓おう
3. のびのびとした笑いと夢のある明るい例会を作ろう
4. 友と交わり奉仕の気力を充実させよう
5. 京都東RCらしい60周年記念事業を行おう
6. 会員増強を継続しよう

60周年を迎えて

敬愛する京都東ロータリークラブの皆様、創立60周年を迎え、ご同慶の至りに存じます。心からの感謝と感動をもって、皆様とともにこの栄えある年を祝福したいと存じます。私は入会してまだ10年にもなりません、それでも、もし京都東RCに入会しなければ、今の自分はないと断言できます。この影響力こそが、クラブ創立以来、脈々と生まれ、受け継がれてきた京都東RCの気風と呼べるものでしょう。

1905年2月23日、ポール・P・ハリスの情熱で産声を上げたロータリークラブは、その後、1920年 東京RC、1925年 京都RCの設立へとつながり、1956年5月21日、京都東RCは誕生しました。23名のチャーターメンバーで始まった京都東RCは、会員の構成上、他クラブにない個性が涵養されました。以前の京都東RCでは、会員が例会を欠席すると推薦者から叱責の電話が入ったとか、「ロータリアンは嘘つかない」などの言葉が飛びかっただとか、さまざまな伝説をうかがっていますが、他クラブの会員が訪問するには少々敷居が高かったようです。しかし、諸先輩がクラブに強い愛着と誇りをお持ちだったことに間違いはなく、還暦を迎えた今年、是非、創立の心に立ち戻り、先人に感謝と敬意を表し、さらなるクラブの発展を誓いたいと思います。

わがクラブの原点と将来を考える時、我々はどうしても故 平澤興先生を思い起こす必要があります。クラブの先輩からは、「ロータリーでわからないことがあったり、行き詰まった時には、虎の巻として平澤先生の遺稿集をひもとき、先生のご活躍中のお言葉を読めばよい」との指導を受けています。第9年度（1964-65）京都東RC会長、1967-68年度第365地区ガバナーを務められた平澤興元京都大学総長は、同世代の会員から熱い信頼を寄せられ、第10年度 木下伊平会長に請われて「限りなき道ロータリー」を作詞されました。また、平澤興先生が薨去された翌年に追悼記念誌が作成され、1989-90年度日比野丈夫会長はその巻頭言で、「先生を頂点とし、団結し活動してきたわがクラブは、大切な象

徴をなくして、一時は茫然自失したといってもよい状態であった。(中略) こうして先生の遺訓を永久に残し、日常の指針とすることにより、先生は私たちの心の中に生き続けられることと信ずる」と偲ばれています。平澤興先生は、「世界100人の高名なロータリアン」の一人にも選ばれましたが、現在、わがクラブでは、先生の讐咳に接した会員は随分少なくなりました。60周年を迎える今、平澤興先生をはじめとする諸先輩方の思いがいつも身近に感じられるように策を講じたいと思います。

本年度の活動方針・計画

1. 60周年記念事業の実施
2. 親睦旅行、年忘れ家族会の開催
3. ファイアーサイドミーティングの開催
4. 吉田山の植樹
5. ミャンマーへの車いす寄贈
6. 四つのテストの実践
7. 財務体質の改善

60周年事業は、京都東RCらしく、厳粛で格調のある形で執り行いたいと思います。創立60周年記念例会と祝宴は、2016年5月20日(金)にウエスティン都ホテル京都で開催します。姉妹クラブの台南RC、友好クラブの帯広RCからも多数のご臨席を賜る予定ですが、会員一同で気配りの行き届いた接遇をし、今まで以上に友情を育みましょう。記念事業としては、わがテリトリーの岡崎文化美術ゾーンに目を向けた企画を立案し、市民公開文化塾も実施します。また、創立60周年誌の制作に加え、平澤興先生遺稿集を再版する予定です。

ロータリーに入会して年月を重ねると、人生で最も大切なことは友情と奉仕であると実感できます。まずは、安藤会長年度に引き続き、毎週の例会を大切にします。例会は、友と交わり、奉仕をしようという気力を高める場です。のびのびとして笑いとユーモアがあふれ、夢のある例会をめざします。例会以外でも、ファイアーサイドミーティング、同好会活動、懇親会等に積極的に参加し、会員同士の友情を深めてください。本年も例年と同じく、親睦旅行と年忘れ家族会を開催します。

社会奉仕に関しては、この数年間、吉田山の植樹を行ってきました。この事業は我がテリトリーにおいて価値が高いので、本年度も継続します。

国際奉仕としては、本年もミャンマーへの車いす寄贈を行います。また、米山奨学生を手厚く迎え、手塩にかけて育てたいものです。

職業奉仕では、ロータリーの原点である「四つのテスト」を再顧し、職場等で実践しましょう。

最後になりましたが、この1年間、京都東RCの会員の皆様のために力を尽くす所存でございますので、ご指導とご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。